Osaka University Knowledge Archive

Title	懐徳 第7号 奥付
Author(s)	
Citation	懐徳. 1929, 7
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/88805
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

は日本の臺所だ、いや東洋經濟の中樞だと大層な鼻息であるが、なんだかあはたゞしい落付かぬところでもある。損德の算盤玉も大事であるが、人間の魂の修養も棄て置けぬは、理屈ぬきの理屈である。坊さんのお念佛も有難い、牧師さんのお說敎も結構であるが、懷德堂の門をくゞつて、聖經賢傳の講義を聽く味は、また格別である。浩然の氣は自ら養はれ大丈夫の魂は自ら磨かれる。新知識を獲て見聞を廣めることも出來るなど、手前味噌はならべずとも、會員諸君は千萬御承知のことであらうが、世間に所謂御宣傳が願ひたひものだ。西村永田松山三先生の時代を種まき培ふ創建の時代だとすれば、小倉財津吉田三先生の時代は、花を咲かせ實を結ばすべき次の時代だといへる。あだかもよし、此の時代の劈頭に辱くも侍從の御差遣を拜し奉る。此の懷德堂を護りたてゝ、意義あらしめ光輝あらしめることは、我々の義務でもあり誇りでもあり、聖恩の萬分の一に報い奉る所以でもある。この上とも會員諸君の御援助を希望する。

昭和四年十月十日印刷
昭和四年十月十二日發行

【非賣品】

發行兼編輯人　大阪市港區八幡屋中通三丁目九七　小沼量平

印刷人　大阪市東區島町二丁目一〇　植田政藏

印刷所　大阪市東區島町二丁目一〇　植田印刷所

發行所　大阪市東區豐後町懷德堂記念會內　懷德堂堂友會　電話東三五五番